

区分49	専門分野 生理学的検査	授業科目名	臨床生理検査学① 実習	単位数	2単位 (60時間)
開講時期	2年 前期	担当教員	松田 一之	担当教員の 実務経験	有・無
◆実務経験の内容 1982年～長崎市立市民病院にて、病理検査、輸血・移植検査、免疫検査、微生物検査、緊急検査業務など検体検査全般を担当。1997年～長崎市立市民病院にて、循環器系検査、神経・筋機能検査、呼吸器系検査、感覚機能検査、画像検査など、生理機能検査全般を担当。2010年～長崎みなとメディカルセンター(旧長崎市立市民病院)にて、臨床検査部技師長業務の傍ら超音波検査など生理機能検査全般を担当。2015年～長崎みなとメディカルセンター事務部にて、診療報酬関連、病院経営管理などを担当。以上、39年間の病院勤務実績あり。					
◆授業の目的・目標 ・心電計の準備、設定ができ、アーチファクトに対応できる。 ・各種心電図検査について説明することができる。 ・標準12誘導心電図を正確に速やかに記録し、判読することができる。 ・緊急性が高い異常心電図を速やかに報告することができる。 ・運動負荷心電図、ホルター心電図を測定し、測定したデータについて解析することができる。					
◆授業の概要・授業方針 ・第1回～7回は1年次後期の再履修を行う。第8回からは少人数のグループに分かれ、各日程に従って実習を行う。 ・機器の準備、患者説明、操作から電極装着などについて修得する。各セクション終了時にレポート提出を必須とする。 ・記録した心電図をリアルタイムに判読することで緊急性の有無を含め、臨床に貢献する力を身につける。 ・グループ内で順番に検査技師役と患者さん役に分かれて、両者を体験することにより、患者接遇やマナーについて修得する。 ・運動負荷心電図、ホルター心電図も可能な限り実技を行う。					
◆テキスト・参考資料等 ・最新臨床検査学講座「生理機能検査学」第2版 (医歯薬出版) ・必要に応じて資料を配布する。			◆成績評価の方法 ・期末試験(8割) ・レポート点(1割) ・実技点(1割)		
授業計画					チェック欄
第1回	循環器系検査の基礎(心臓、心周期、血管)				
第2回	刺激伝導系と心電図波形の成り立ち、心電図波形の計測				
第3回	標準12誘導心電図の誘導法と読み方、電気軸				
第4回	心電計の構成、アーチファクト対策				
第5回	異常心電図(不整脈)判読と対応				
第6回	異常心電図(虚血性心疾患)判読と対応				
第7回	運動負荷心電図(適応と禁忌、方法、中止徴候)、ホルター心電図、加算平均心電図				
第8回	オリエンテーション(実習概要)、グループ打合せ、心電計の設定、生理検査室の準備				
第9回	標準12誘導心電図実習(準備、患者説明、電極装着、結果の判読)				
第10回					
第11回	レポート作成と提出(第1～10回分)				
第12回					
第13回	マスター運動負荷心電図実習(準備、患者説明、結果の解釈)				
第14回					
第15回	トレッドミル運動負荷心電図実習(準備、患者説明、中止徴候、結果の解釈)				
第16回					
第17回	ホルター心電図実習(電極装着、患者説明、結果の解釈)				
第18回					
第19回	レポート作成と提出(第13～18回分)				
第20回					
第21回	標準12誘導心電図実技テスト				
第22回					
第23回	運動負荷心電図実技テスト				
第24回					
第25回	平衡機能検査、聴覚検査、眼底カメラ、味覚・嗅覚検査実習				
第26回					
第27回	眼底カメラ実習(準備、患者説明、結果の解釈)				
第28回					
第29回	レポート作成と提出(第25～28回分)				
第30回					